

悠久の時流れる神秘の島、屋久島を歩く 3日目

開催日：2024年5月30日（水） 曇り

日 程：民宿やくすぎ荘→雲の展望台→白谷雲水峡苔むす森トレッキング→島の恵み館（昼食）→
志戸子ガジュマル公園→屋久島町役場木造庁舎→屋久島空港→鹿児島空港→羽田空港

コース：白谷雲水峡入り口→石畳道→花崗岩の上→飛竜おとし→さつき吊橋→登山道→くぐり杉→七本杉→
苔むす森→七本杉→くぐり杉→登山道→さつき吊橋→飛竜おとし→花崗岩の上→石畳道→
白谷雲水峡入り口

参加者：岩元（L） 熊坂（SL） 奈良 河野 栗田 市村 小田 高橋友 三田 玉利 高津佐 越後
齊藤厚 工藤 14名

「悠久の時流れる神秘の島、屋久島を歩く」3日目、「白谷雲水峡苔むす森トレッキング」です。バス添乗員さんが「山間部では年間8000mmから1万2000mmの雨量です」と話していましたが、その雨量で、1日目の千尋の滝、2日目の安房川、そしてこの日の白谷川も渓谷を流れ落ちる水量と勢いは凄かったです。白谷川は、九州最高峰の宮之浦岳が源、水道水や発電用水としても利用して水と共生しています。そんな白谷雲水峡は水源の森百選に選ばれています。沢の清流と屋久杉の巨木、「もののけ姫」の舞台となった苔むす森トレッキングを楽しみました。午後はゆったりと、目の前にきれいな海が広がる志戸子ガジュマル公園で亜熱帯植物を観賞、杉建材の屋久島町役場木造庁舎を見学して屋久島空港に着きました。「悠久の時流れる神秘の島、屋久島を歩く」を楽しんだ3日間でした。



7時 朝食～民宿 8時～雲の展望台～8時28分 水源の森百選白谷雲水峡

7時、1階の食堂で朝食。塩鮭焼き、キンピラ、野菜サラダ、生卵、たくあん、ご飯に味噌汁、ご飯半分おかわりしました。トレッキングに不要な荷物を屋久島空港へ届けていただくために、玄関前で自動車に積み込みました。各自ストレッチをして身体をほぐします。8時、真辺、局両登山ガイドの8人乗り自動車に分乗して民宿を出発。すぐに山道に入り、雲の展望台で車を下りて景色を堪能。8時28分に水源の森百選白谷雲水峡に到着、標高は600m。ミニ水力発電施設があり、白谷川の豊富な水が有効に使われています。真辺ガイドから「森林環境整備推進協力金500円」のチケットを受け取り、石碑の前で集合写真を撮影。



8時50分スタート～石畳道～花崗岩の上～飛竜おとし～さつき吊橋

前日の縄文杉とヤクスギランドコースのグループに分かれて8時50分、屋久杉グループが先にスタート。左手に白谷川を見ながら整備された石畳道を上り、大きな花崗岩の上を歩いて行きます。縄文杉コースでも見た二代杉がここにもありました。白谷雲水峡の見所のひとつ飛竜おとし、岩肌を水が勢いをつけてすべり落ちていきます。少し上ってさつき吊橋を渡ります。上流の岩肌から下流の飛竜おとしへ流れが急です。



上り登山道～苔むす幻想的な世界～標高820m くぐり杉～七本杉

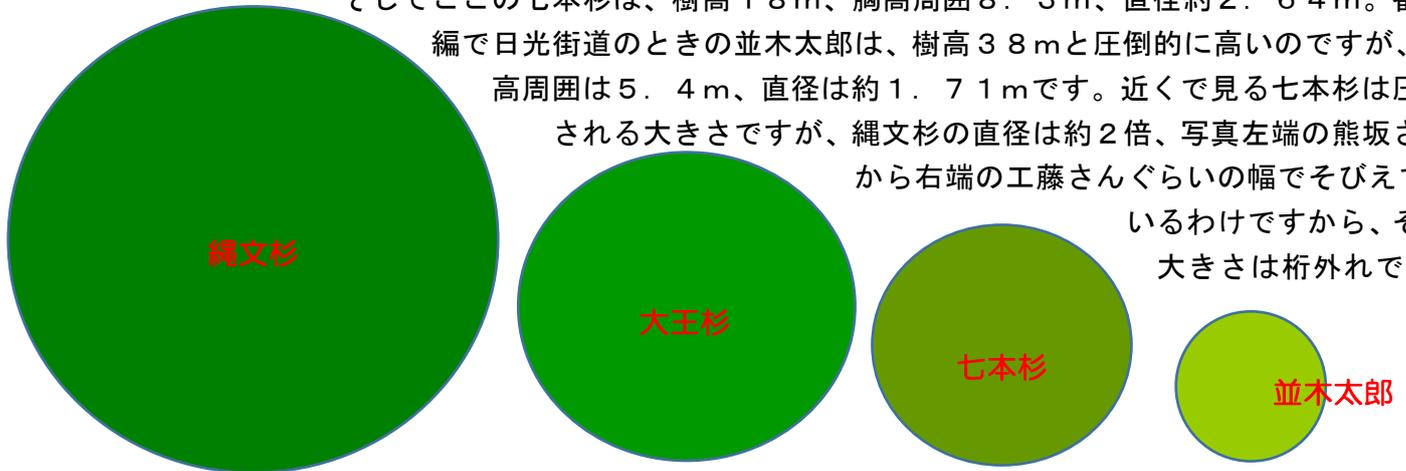
さつき吊り橋を渡ったところから上り登山道です。ライオンに似た切り株の杉が出現、緩やかな沢沿いのところに出ると苔むす幻想的な世界が広がっていました。岩場を包むように根が張った杉がたくさん見受けられ、ゾウの姿に似た切り株もありました。スタートしてから200mほど高度を上げて標高820mのくぐり杉に着きました。先に回り後続がくぐり抜けてくるところをパチリ。小学5年生が、穴の中でシカが雨宿りする姿をイメージして「シカの宿」と命名した杉がありました。白谷小屋への分岐をまっすぐ進み、七本杉にまで上ってきました。強風で損なわれた主幹上部に七本の枝が立ち上がって日照を確保しています。



近くで見る七本杉は圧倒される大きさ 縄文杉はその2倍の直径

屋久島に来て大きな杉を見てきましたので、ここで大きさを図（100分の1）で比較してみました（直径は胸高周囲÷3.14で計算）。縄文杉は、樹高25.3m、胸高周囲16.4m、直径約5.22m。縄文杉が発見されるまで一番大きかった大王杉は、樹高24.7m、胸高周囲11.1m、直径約3.53m。

そしてこの七本杉は、樹高18m、胸高周囲8.3m、直径約2.64m。番外編で日光街道のときの並木太郎は、樹高38mと圧倒的に高いのですが、胸高周囲は5.4m、直径は約1.71mです。近くで見る七本杉は圧倒される大きさですが、縄文杉の直径は約2倍、写真左端の熊坂さんから右端の工藤さんぐらいの幅でそびえているわけですから、その大きさは桁外れです。



10時17分苔むす森

七本杉から少し上って10時17分。この日の「白谷雲水峡苔むす森トレッキング」の目的地、こけむす森に到着しました。標高は870m、「もののけ姫」でシシ神の森のイメージとなった幻想的な世界が広がっていました。先行グループだけで森を背景に集合写真を撮影。



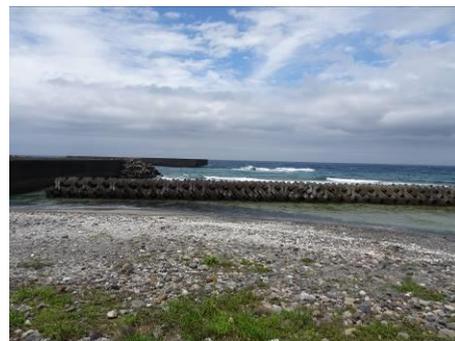
苔むす森 10時30分~11時40分 白谷雲水峡入り口 歩数8000歩

森を眺めている後姿の集合写真も撮影。写真撮影する人などで大分混んできました。後ろのグループが来るまでにはまだ時間があるので、少し上ってみました。上った先を進んでいけば、標高1050mの太鼓岩、さらに前日歩いたトロッコ道の楠川分かれに出ます。ほどなく後ろのグループも着いたので。下りて全員で集合写真を撮影。10時30分下山開始、上ってきた道に戻ります。歩き始めてすぐに元気なカエルが飛び出てきました。水かさの増した沢を渡り、森を抜けます。登山道を下りてさつき吊橋を渡り、白谷川沿いを下りて11時40分、白谷雲水峡入り口に下山。歩数8000歩、行動時間2時間50分でした。



島の恵み館で昼食～志戸子ガジュマル公園～岩元さん実家へ

自動車で山を下りて12時10分、宮之浦港近くの「屋久島ふるさと市場島の恵み館」へ到着。みなさんお土産スペースでお菓子や焼酎などのお土産を購入。奥がレストランになっていて昼食は海鮮丼でした。時計の0時の方向の志戸子ガジュマル公園へ向かいます。岩元さんは高校時代、アップダウンのある海岸線の道を自転車通学していたとのこと。園の前に自動車を駐車、きれいな青い海が広がっていました。園の中はガジュマルの木などがうっそうとしています。真辺ガイドが「ガジュマルは気根が地面に達して成長し、成長場所が変化していく・・・」と手振り身振りで説明してくれました。園を出て岩元さんおすすめの、木々の間から海を臨めるインスタ映えするところで写真撮影。港のところの「ガジュマルキッチン」へ、私はタンカンジュースを御馳走になりました。ウミガメがいるとのこと店前の港へ、ウミガメの姿は見えませんが年配男性と会話、「ここは港ができる前はサンゴ礁が続いていた」と話してくれました。海沿いの道を歩いて岩元さんの実家へ、今でも帰省するときは使用しているとのこと、庭で写真を撮りました。



屋久島町役場木造庁舎～屋久島空港～鹿児島空港～羽田空港

きれいな海に自然たっぷりの土地、真辺さんをはじめとした素敵な友達、岩元さんが子どものころとは大違うのかもしれませんが、ゆったりと時間が流れるのを感じました。時計の2時の方向にある屋久島空港をめざして、走って来た道に戻ります。空港に行く前に杉建材の屋久島町役場木造庁舎を見学、平屋の木組みの広い空間で仕事をされていました。屋久杉の切り株や焼酎の三岳と愛子が展示されています。15時半前に屋久島空港へ到着、朝預けた荷物が届けられ、空港ロビーに入りました。1日目の鹿児島～屋久島便欠航の払い戻しができました。搭乗手続きをして歩いて飛行機に向かいます。16時35分発、プロペラ機でした。鹿児島空港で19時10分発羽田行きに乗り換えて20時50分、羽田空港に着きました。お土産はバス添乗員さんおすすめの三岳と鯖スモーク、鹿児島空港で購入したスイート安納芋と軽羹饅頭でした。



(いちむら記)